猫屋通信

2012 7月号

7月の猫屋横丁

7月15日(日) 11:30〜14:00
長男堂にて。日曜市

そろそろ梅雨も終わりが見えてくる頃。夏野菜の元気な姿がスーパーや八百屋などで目にする事も多くなりました。「パワフルな夏野菜を見ているだけで、料理をする私も元気をもらえます!」と、どこぞの料理研究家が言っていそうなクサイ事は言いませんが、単純に美味しそうであります。そんな夏野菜を使って、パン、お弁当、お菓子にアレンジされ猫屋横丁に並びます。珈琲豆の香七絵さんは、アイスコーヒーにぴったりな豆や、夏場にスキッとする様な豆を持ってくるそうです。イートインコーナーもあります。淹れたてのアイスコーヒーも飲めます。もちろんテイクアウトでも。もしかするとカキ氷も出るかもしれません。色々楽しみのつきない猫屋横丁。ぜひお越し下さいませ。

猫屋通信とは…

毎月第3日曜日に開催の日曜市、「猫屋横丁」に出店のメンバーとご近所さんによる月刊新聞です。

配布店舗

A.K Labo。
珈琲家 香七絵
こぐり焼菓子店
まめ蔵
長男堂

web版

waterblue
ホームページ上↑
過去のアーカイブも

月刊ひとりごと

長男堂

弁当・惣菜屋にリニューアルして、ますます便利&身近になった長男堂。毎日違うお弁当や、惣菜

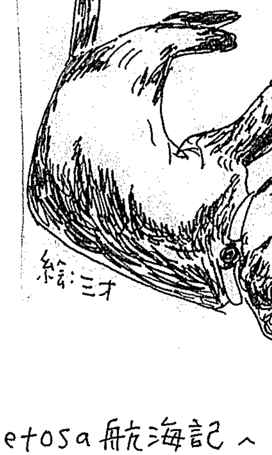
が並びます。デザートもあったり(なかったり)。今日の夕飯の手抜きに。明日の会社のお弁当にと。長男堂活用術は長男堂ブログにて。

近所のものです

薄荷の結晶を見つけました。机の奥から。ビンの中に霜柱を長くしたような透明な結晶が折り重なっているのです。子供の頃、北海道の北見で買ったっきり、そのまま溶けずにきれいなまま。子供の頃は宝物だったなあ、と思いながらお湯の中に2カケラ。顔をぐっと近づけると目にしみる、鼻にしみる。思いきって飲んでしまいました。宝物の味はと言うと湿布が全身に流れ込むようで、「夏にはいいかも」とも思いつつ、再び机の中にしまいました。夏も!!「猫屋横丁」楽しみにしています。

hidamariびより

私の父親は天然記念物だ。スチルトン(イギリスのブルーチーズ)をつまんでいたら、父親の伝説、がよみがえってきた。私は小学生の時からブルーチーズが大好きだった。父がたまに食べていたのをこっそりもらって食べていた。
私が学生の時、家でブルーチーズを1人で食べていたら父が来たので「食べる?」と聞いたら「よくそんなの食べれるなぁ」と言われた。えっ!?そうです。父は好きだったコトすら、覚えてないのです。私は弟が2人いるのですが、長男の方の名前を父は漢字で書くことができません。すぐ忘れてしまうのです。たぶん また。忘れていると思う。誰かのお母さんと通ずるものが…いや、うちの父の方が親としてダメかも。今だによく父のコトがつかめません…


「今月のクロ」
クロの中身はシロなのです。

絵:ミオ

ことり便り 2012年7月"甘夏おばさん"

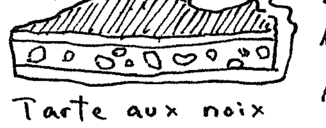
みなさんこんにちは。今年の梅雨は涼しい日が多いですね。夏も例年より涼しくなることを願います。さて、この頃は甘夏を煮たりレモンを煮たり、冬のフルーツケーキの準備をコツコツ進めています。2〜3度ゆでこぼした甘夏を、クツクツ煮てからシロップに漬け、それから煮上げていきます。プカプカお湯に浮かぶ甘夏も、煮上げていくときトローとつやっぽい甘夏も眺めていて飽きません。すっかり気に入ってしまい、他のカンキツ類も煮ていますが、冬の分までもつかどうか。シロップ煮ができたら刻んで洋酒に漬けて、冬までおいておきます。昔お客さんから甘夏の砂糖漬けの名人がいて、その人のつくるケーキが絶品ときいて憧れていました。あこがれの甘夏おばさん、今年の冬には堂々デビュー?!

ことり

No.38 Isère　A.K Laboのフランス菓子さんぽ

フランスは100の県に分かれています。毎月1県づつ、その県にまつわるお菓子をご紹介

ローヌ・アルプ地域圏のイゼール県。県庁のあるグルノーブルはスキーリゾートとして有名な山の町。シャルトリューズ(薬草酒)やブルードゥヴェルクールサソナージュ(青カビチーズ)など数ある名物の中でも世界的に知られているのがクルミです。そんなクルミをふんだんに使ったタルト・オ・ノワは7月中A.K LABOにてお召上りいただけます。

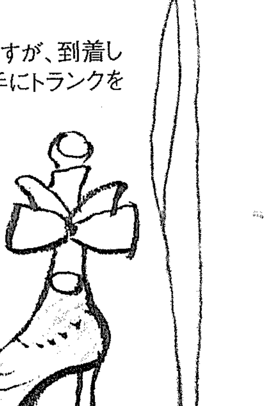

Tarte aux noix

7/15(日)ハモニカ朝市に出店。7/26,27は東急横「ふれあい夏祭り」にて文具店「36」カレー店「Momo curry」とともに出店予定。　詳しくは→ http://www.aklabo.com/

shopaholic waterblue

先日、ともだちに誘われてフリーマーケットに参加してきました。使えるものを捨てることが苦手な身には、とてもありがたいイベントです。

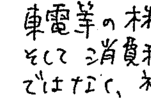
出店側は初めてだったのですが、到着して並べようとする端から勝手にトランクを漁られるのにはびっくり!
プロの人たちこわいです…
そしてとにかく値切られる。
値切るのが標準なのね?
値切られる前提で値段を付けないといけないのね?



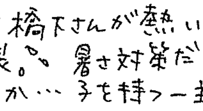
朝早かったのもあったよれよれで帰宅したら、とっても素敵なプレゼントが届いていました。
ハイヒール型のビンに注がれた青いお酒。
waterblueという名前からイメージして送ってくれたのだそう。
ネットで探してみたら、ピンクグレープフルーツのピンク色なハイヒールとか、いろいろあるみたい。ときめきます。

Waterblue

waterblue: accessories & web design
e-mail: info@wtblue.jp
website: http://wtblue.jp



hopetosa航海記



暑い季節がやってきました。暑さに弱い私はこれからの数ヶ月を節電しつつどうやりすごすか、う〜んと考える日々です。巷では、東電等の株主総会が開かれ、猪瀬さんや橋下さんが熱い。そして消費税増税法案では民主党が分裂。暑さ対策だけではなく、社会の変化にもどう対応していくか…子を持つ一主婦としては行く末が不安です!
さて、この暑い中、秋のイベントに向け、国内産の良質な羊毛を集めるべく動き始めました。まずは、以前、「NHKの取材で」お世話になった北海道はレイチェル牧場の岸さん(本人は自分のことをやまんばと言う。)に連絡を!このところ、HPが更新されてなく、体調が心配でしたが、やはり、弱かった視力が落ち、ほとんど見えなくなってしまったのだとか。小さかった孫のまあやちゃんは、別の町の中学校に行くため引越してしまい、岸さんはほとんど見えない目で羊たちの世話をし糸を紡いで暮らしているのだそうです。世界中から減り続けている羊毛。ほぼ輸入に頼っている羊毛ですが、

少し高くなったとしても、今後は国内産のものでやっていくべきだと思います。デフレで価格競争が激しくなり、¥1の格安航空券などを売り出しちゃうような世の中を、自分にできるところから変えていきたい。身体が一つしかなく、一日が24時間しかないところが残念ですが、もうすぐ届く岸さんのブラックウェリシュマウンテンの銀色にかがやく羊毛を大切に紡いで形にしたいと思います。　そしてそして…
身近なところから視聴者に元気を与え続けてくれた地井さん…長い間、ありがとう。　若大将の人選ミスは誰もが周知
自分も気温も熱くて暑い夏!溶けないよう注意したい。

雑・雑・雑

猫好きが書いたエッセイ本を読んだことがないので一例によって偏見で独断です。
猫好きを自認する人には二通りあって、猫の生態そのものが好きな人と、猫の生態に託した自分が好きという人ー　後者は、猫のブローチや猫柄の服や財布を身につけているからすぐわかる。一方前者は、猫といっても キティちゃんやダヤンには興味なし。猫のカレンダーは決してかけない。両者猫の話しで盛り上がれるがなんとなく異和感を感じている。　この異和感ー
猫ブローチ組は「私を愛して♡」タイプ。　一方は「私が愛する」がタイプ。我が強いです。ちなみにこのタイプは友人と歩いていて 絶対に腕を組まれる方だったはずです。
猫好きの人を一様に見てはいけません。　お互いを「えーッ私そういうんじゃなぁーい。一緒にしないでヨー♪」と思ってますから きっと。(